

令和5年度事業計画

県受託事業

1. 栽培技術普及指導

適切で効果的な放流を施すため、放流適地選定、放流時の立会い指導、放流後の状況確認を行い、漁場の管理を漁業者等と共に推進する。

また、養殖を行なう場合の飼育技術の指導、飼育施設へのアドバイス、増殖や移植活動に取り組む者への技術指導を行う。

ア. 種苗放流

魚 種	箇所数	指 導 先
ヒ ラ メ	2	淀江、境港
キ ジ ハ タ	10	網代、酒津、浜村、夏泊、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江
ア ワ ビ	15	東、浦富、田後、網代、福部、賀露、酒津、浜村、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江、境港
サ ザ エ	14	東、浦富、田後、網代、福部、賀露、酒津、浜村、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江

イ. 養 殖

魚 種	箇所数	指 導 先
ヒ ラ メ	2	湯梨浜振興合同会社、米子市漁協
マ サ バ	3	弓ヶ浜水産、米子市漁協、タシマボーリング
キ ジ ハ タ	1	三光株式会社
イ ワ ガ キ	1	浜村
ワ カ メ	5	東、田後、福部、泊、淀江
ムラサキウニ	2	青谷、泊（鳥取県漁協）
ギ ン ザ ケ	2	湯梨浜振興合同会社、米子市漁協（試験養殖）

ウ. 増殖・移植

魚 種	箇所数	指 導 先
イ ワ ガ キ	11	田後、網代、酒津、浜村、夏泊、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江
アラメ・クロメ	9	東、浦富、田後、網代、浜村、青谷、赤碕、中山、淀江

2. 施設維持管理

各種業務に係る機器類の適正な運転とその管理を行う。

3. マサバ試験養殖用種苗生産

県栽培漁業センターが試験養殖に用いるマサバ種苗を生産する。

（全長60mm：6,000尾）

4. マサバ晩期採卵試験

晩期（8月）の採卵を目的に親魚養成技術の構築を行う。

5. キジハタ早期採卵試験

早期（6月）に採卵を目的に親魚養成技術の構築を行う。

6. キジハタ試験放流用種苗生産
(全長80mm：2,000尾、全長50mm：2,000尾)
7. ツルアラメ藻場造成試験
ツルアラメの藻場造成技術の開発を行う。
8. アユ発眼卵生産 (新規)
アユ発眼卵を300万粒生産する。
9. アラメ・ツルアラメ種苗生産 (新規)
藻場造成試験に用いるアラメ・ツルアラメを種苗種糸70m生産する。
10. マナマコ中間育成 (新規)
天然採苗で得られた稚マナマコの中間育成を行う。

独自事業

1. 種苗生産事業
漁業者などから受注し、次の種苗を生産・販売する。

	魚 種	数 量	大 き さ
放流用	ヒ ラ メ	60,000尾	全長80mm
	キ ジ ハ タ	23,000尾	全長50mm
	ア ュ	492,000尾	体重 5g
	ア ワ ビ	153,200個	殻長30mm
	サ ザ エ	326,000個	殻高 9mm
養殖用	ヒ ラ メ	10,500尾	全長80mm
	マ サ バ	345,000尾	全長60mm
	キ ジ ハ タ	3,000尾	全長70mm
	ア ュ	10,000尾	体重 5g
移植用	ア ラ メ	プレート従来型(73枚)	葉長10cm
		プレート小型(212枚)	葉長10cm

2. 展示養殖事業(養殖開拓事業)
中間育成事業に移行
3. 中間育成事業(養殖支援、開拓事業)(新規)
養殖業者の経営安定のため、安定した生残が見込めるサイズまで中間育成を行う。

魚 種	数 量	内 容
ヒ ラ メ	6,000尾	体重約400gまで
ギ ン ザ ケ	1,000尾	体重約250gまで

4. 日本財団 海のごちそう地域モデル in 鳥取 （新規）
鳥取ブルーカーボンプロジェクト「豊かな海の再生を目指して」実行委員会へ委託。
春と秋にムラサキウニ畜養試験の餌料比較試験を行う。
5. 規事業開拓試験
新たな栽培対象種の種苗生産および増・養殖方法の技術開発を行う。
6. 栽培漁業実証研修
種苗生産に係る最新の情報収集及び新技術の実証研修、法人運営に係る情報交換を行う。
7. アワビ・サザエ等栽培漁業検討会
アワビやサザエ等の増養殖に関わる情報の提供や交換を行う。